

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	中央卸売市場整備事業		
部 局 名	創造都市推進局	課 (室) 名	市場業務課
		電話番号	087-863-3411

【事業全体概要】まちづくりの目標：人がにぎわい活力あふれるまち

総合計画	政策	地域を支える産業の振興・地域経済の活性化		主体	市
	施策	商工業の振興と地域経済の活性化		期間	平成 26年度～平成 27年度
	基本事業	流通機能の強化		総事業費	23,493
重点取組項目	重点取組課題 8			特定財源	国
関連根拠法令等	卸売市場法, 高松市中央卸売市場業務条例等				県
事業区分	自治事務	種 別	事中・事後	市債	
事業種類	起債			他	
				一 般	23,493

事業の概要  
 本市場の主要な建物である青果棟（昭和 5 2 年しゅん工）及び水産物棟（昭和 5 5 年しゅん工）は、いずれも建築後 3 0 年以上経過しており、旧耐震基準の建築物である。  
 平成 2 3・2 4 年度に実施した耐震診断の結果、青果棟は緊急に改修等の措置を講ずる必要がある「A 評価」、水産物棟は可及的速やかに改修等の措置を講ずる必要がある「B 評価」であったことから、この結果を踏まえ、コールドチェーン化や省エネルギー化等にも対応した市場施設を整備する。

【事業の目的と指標】

対象	青果棟及び水産物棟	対象指標名	主要な整備対象施設数
手段	耐震診断の実施、外部有識者を交えた施設整備の検討、市場関係者の要望聴取、整備構想、整備計画の策定、基本設計・実施設計及び工事の施工	活動指標名	関係者との協議回数
意図	耐震性能を兼ね備え、コールドチェーン化や当市場における将来の取引形態に対応した市場施設の整備	成果指標名	マスタープランに掲載されたコールドチェーン化の実施数
結果	取扱量・取扱高の拡大と災害発生時における生鮮食料品等の流通の継続	効率指標名	施設整備の終了した主要施設数

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	棟		2	2	2	
活動指標	回		5	3	5	
成果指標	か所		4	0	4	
効率指標	棟		2	0	2	
トータルコスト	[千円]		8,364	15,129		
(事業費)	[千円]		1,124	7,452		
(職員人件費)	[千円]		7,240	7,677		

【環境変化等】

開始時周辺環境 (背景)	現状周辺環境	今後周辺環境 (予測)	住民意向分析
青果棟・水産物棟は第 2 次卸売市場整備計画により建設された。当時は流通量の拡大など、市場施設の規模拡大は市場関係者のみならず、生鮮食品の流通関係者共通の課題であった。	青果棟・水産物棟は当市場の主要施設であるが、いずれも旧耐震診断で建築されており、耐震診断の結果、いずれも耐震対策が必要との結果であった。また、両棟とも建築から 3 0 年以上経過しており、施設の老朽化が顕著である。	高齢化社会の進展はもとより流通システムの多様化などにより、当市場の取扱量・高は今後も厳しい状況が続くとも予想されるが、地域の生鮮食料品の安定供給や価格形成機能等において、当市場の果たす役割は依然大きく、事業の継続性の観点からも施設整備は必要である。	市場関係者の代表者で構成された高松市中央卸売市場運営協議会において、耐震診断の結果報告した際、市場関係者からは、耐震対策・老朽化対策の推進について、多くの要望が出された。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か
A 法令等により市が実施しなければならない 卸売市場法等により、中央卸売市場の開設者は地方公共団体であり、また、地方卸売市場についても取引の公正かつ効率的であることを確保する観点から妥当である。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか
A 貢献度が大きい 流通ルートが多様化している中、消費者に生鮮食料品等を、日常的に適正な価格で安定供給するという役割を担っている卸売市場の機能強化及び将来の方向づけは不可欠である。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか
A 必要性はない 現行のマスタープランの策定過程において、市場関係者で構成する取引委員会をワーキンググループとして位置付け、卸売市場の機能の向上を目指している。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか
A 影響は大きい 全国的に市場の将来方向についての検討がされている中、老朽化した施設を整備するとともに、市場機能を維持し、市場全体の経営力を強化するためにも、整備事業の実施は欠かせない。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか）
A 事業のプランづくりの段階からNPO、市民団体が参加している 今後の市場のあり方について、市場関係による検討部会、学識経験者・市民団体等による懇談会での検討・報告において、その意見を反映させている。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか
A 向上余地はない 市場関係者、学識経験者や市民団体等へ資料提供を行い、各部会で今後の市場のあり方について検討し、結果報告を行っている。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか）
A 実施済み / 実施する必要がなかった 市場の機能強化及び市民に開かれた市場を整備するため、定期的に関設運営協議会を開催し、検討・報告を行っている。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか
B 目標どおり達成できた 部会及び開設運営協議会は予定通り開催した。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか
B 目標どおり達成できた 部会及び開設運営協議会を開催し、目標どおり達成できた。
10. コスト縮減ができたか
C 少し縮減できた 予定どおりに部会及び開設運営協議会を開催したことにより、コスト縮減ができた。

【一次評価】

評価区分	継続													
流通拠点としての市場機能の向上と物流の活性化を図り、また、消費者に親しまれる施設整備を行うことは重要である。														
改革案														
内容	市場関係者及び市建築課等と十分な協議・検討を行う。													
阻害要因														
期待効果	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td rowspan="2">向上 維持 低下</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加					
成果	向上 維持 低下			コスト										
		削減	維持	増加										

【二次評価】

評価区分	継続
流通拠点施設としての卸売市場の機能の維持強化を図るため、老朽化し、耐震性及び品質管理・衛生管理に課題がある青果棟、水産物棟を再整備する事業であり必要である。	